

## 気候情報

### 2015年8月の日本の天候

- 沖縄・奄美から東日本太平洋側にかけて降水量が多く、沖縄・奄美ではかなり多かった
- 北・東・西日本では上旬は高温、下旬は低温
- 台風第15号の接近・上陸により、沖縄・奄美と西日本で暴風雨

#### 8月の天気概況

上旬は、太平洋高気圧が本州付近に張り出し、北日本から西日本にかけて晴れて気温が高くなった日が多くなった。沖縄・奄美では台風第13号の影響で7～8日に曇りや雨となり、先島諸島では暴風雨となった。

中旬は、本州付近が気圧の谷となり、北日本から西日本にかけて低気圧や前線の影響を受けやすかった。

下旬は、非常に強い台風第15号が沖縄・奄美に接近し、熊本県に上陸した。沖縄・奄美や西日本では暴風雨となった。一方、北・東日本では、冷たく湿った空気が流れ込んだため、気温がかなり低くなった。

**上旬：**太平洋高気圧が本州付近に張り出し、北日本から西日本にかけて晴れて気温が高くなった日が多く、各地で日最高気温が35℃以上の猛暑日となった。沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、台風第13号の影響で7～8日に曇りや雨となり、先島諸島では暴風雨となった。与那国島（沖縄県）では8日に日降水量が384.5 mm（8月の1位の値更新、統計開始1957年）となるなど、8月としては記録的な降水量となった。

旬平均気温は、東日本でかなり高く、北・西日本で高かった。沖縄・奄美は平年並だった。

旬降水量は、東・西日本でかなり少なく、北日本日本海側で少なかった。一方、沖縄・奄美では多かった。北日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本でかなり多く、北日本日本海側で多かった。北日本太平洋側と沖縄・奄美は平年並だった。

**中旬：**オホーツク海からカムチャツカの東にかけての高気圧と日本の南海上の太平洋高気圧との間で本州付近が気圧の谷となり、北日本から西日本にかけて低気圧や前線の影響を受けやすくなった。沖縄・奄美では、旬の初めと終わりは太平洋高気圧に覆われ概ね晴れたが、旬の中頃は湿った気流の影響で曇りや雨となった。

旬平均気温は、西日本では低かった。北・東日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、西日本日本海側でかなり多く、北日本と東・西日本太平洋側で多かった。東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、全国的に少なかった。

**下旬：**非常に強い台風第15号が沖縄・奄美に接近し、25日に熊本県に上陸した後、日本海へ進み、26日に温帯低気圧に変わった。このため、沖縄・奄美や西日本では暴風雨となった。石垣島（沖縄県）では23日に最大瞬間風速71.0 m/s（観測史上1位の値更新、

統計開始1941年）を観測した。また、雲仙岳（長崎県）では1時間に134.5 mm（観測史上1位の値更新）の雨が降った。北・東日本では、オホーツク海から高気圧が張り出し、冷たく湿った空気が流れ込んだため、気温がかなり低くなった。東北太平洋側では、旬間日照時間が平年比19%となり、1964年と並んで少ない方から1位タイの記録となった（統計開始1961年）。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり低く、沖縄・奄美では低かった。

旬降水量は、西日本と沖縄・奄美でかなり多く、東日本で多かった。一方、北日本日本海側ではかなり少なく、北日本太平洋側では少なかった。

旬間日照時間は、東・西日本と沖縄・奄美でかなり少なく、北日本で少なかった。

#### 8月の気候統計

月平均気温：西日本で低かった。北・東日本と沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：沖縄・奄美ではかなり多く、東日本太平洋側と西日本で多かった。北日本日本海側ではかなり少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

月間日照時間：沖縄・奄美でかなり少なく、北日本日本海側と東日本太平洋側で少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側、西日本では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

#### 8月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量多い方から（mm）  
与那国島 812.5 西表島702.0
- ・月降水量少ない方から（mm）  
南大東島 10.0

#### 2015年8月の平年差（比）図

